

JST/CRDS-OECD合同ワークショップ

研究インテグリティと研究セキュリティ

日時：6月28日（火）16:00～18:30

会場：Zoomウェビナーにて開催（英語、日本語 同時通訳あり）

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター（JST/CRDS）

共催：経済協力開発機構（OECD）

後援：内閣府（申請中）

プログラム：モデレーター 岩瀬 公一 JST/CRDS 上席フェロー

開会挨拶

- 倉持 隆雄 JST/CRDS 副センター長
- Carthage Smith, Senior Policy Analyst, Global Science Forum(GSF)、OECD

海外からの発表

- Yoshiaki Tamura, Policy Analyst, GSF, OECD
“OECD policy paper on integrity and security in the global research ecosystem”
- Toby Smith, Vice President for Science Policy & Global Affairs, Association of American Universities (AAU)
“Ensuring Research Security & Integrity: A Perspective from the United States”

日本からの発表

- 山崎 恵理子 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官補佐（国際担当）
「国際化とオープン化が進む研究環境における研究インテグリティの確保に向けた内閣府の取組」
- 村松 哲行 JST/CRDS 科学技術イノベーション政策ユニット フェロー
「オープン化、国際化する研究におけるインテグリティ2022 —我が国研究コミュニティにおける取組の充実に向けて—」
- 佐々木 孝彦 国立大学法人東北大学 副理事(研究公正担当)
「研究インテグリティの確保に向けた東北大学の取組」

質疑応答・議論

参加登録はこちらから（参加費無料）：

https://form.jst.go.jp/enquetes/crds_oecd_20220628

開催趣旨

研究のオープン化、国際化に伴うリスクへの対応（研究セキュリティ）の強化の必要性が国際的にも広く認識され、利益相反に重点を置いた研究インテグリティの強化は、研究セキュリティ強化のための有効な手段であるとの認識が国際的に共有されつつあります。我が国でも、研究コミュニティにおける主体的な取組を始め、着実な進展が望まれています。

今般、OECDが研究インテグリティ・研究セキュリティに関する報告書を公開したことを踏まえ、報告書に基づく各国の取組、米国大学協会の取組、日本政府の取組、海外の大学の取組、日本の大学の取組を共有し、課題について議論することにより、今後の我が国における取組の参考とすることを目的として、本ワークショップを開催します。

発表者情報

岩瀬 公一

JST/CRDS 上席フェロー

大学・大学院で化学と経営学を専攻。文部科学省、内閣府、JST、東北大学等でSTI政策立案、研究助成事業企画運営、研究機関経営等に従事したのち、2019年4月より現職。

Toby Smith

Vice President for Science Policy & Global Affairs, AAU

Tobin (Toby) Smith oversees matters related to science and innovation policy, impacts of science, research security and integrity, and international activities at the Association of American Universities.

村松 哲行

JST/CRDS 科学技術イノベーション政策ユニットフェロー

2003年素粒子論の研究で博士（学術）。ポスドクを経て2004年文部科学省入省。入省後は、大学や他府省への出向を経つつ、主に科学技術政策を担当。昨年7月より現職。

Yoshiaki Tamura

Policy Analyst, GSF, OECD

Yoshiaki Tamura joined the Global Science Forum Secretariat in 2019 as a Policy Analyst. He manages a project on integrity and security in the global research ecosystem.

山崎 恵理子

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官補佐（国際担当）

英国レディング大学ヨーロッパ・国際学研究大学院修士課程修了。英文出版社編集部、学術出版社エルゼビアの英文ジャーナル・パブリッシャーを経て、2020年5月より現職。

佐々木 孝彦

国立大学法人東北大学 副理事（研究公正担当）

1992年有機物質の電子物性に関する研究で博士（工学）（東北大学）。同年東北大学金属材料研究所助手。准（助）教授を経て2010年教授，2014年同所副所長，現在に至る。2012年安全保障輸出管理，2018年研究倫理を全学で担当し，2022年より現職併任。

問い合わせ：科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）
企画運営室 crds@jst.go.jp